

書籍『岩手の生協ものがたり（本冊と別冊セット）』

岩手県生協連顧問・加藤善正著

著者・加藤善正氏は、5月に開催した第18回通常総会「記念シンポジウム」に参加いただき、「日本の生協陣営は「正気の島」になりえているか！」—岩手の生協運動の「思想と実践」から、憲法が生きる社会づくりを考える—というテーマで講演いただきました。そして、4人のパネリストからの実践報告と加藤氏のコメントで「生活協同組合運動の可能性」考え合いました。

この度、岩手県生活協同組合連合会より、加藤氏が講演の中でふれられた書籍『岩手の生協ものがたり（本冊と別冊セット）』の案内がとどきましたので、書籍共同購入をご案内します。



岩手の 生協ものがたり

加藤善正 著

ユネスコ・協同組合を
『無形文化遺産』に登録(2016年)記念
著者の『岩手の生協ものがたり』を半世紀以上追いかけてきた著者が、その「思想と実践」をものごとりにまとめた。全国の協同組合・加盟団体・関係者へ発信します。

岩手県生活協同組合連合会

▼▼▼以下、岩手県生活協同組合連合会からの案内

岩手の「協同組合らしい生協」を半世紀以上追いかけてきた著者が、その「思想と実践」をものがたりにまとめて、組合員・常勤者・友誼団体・全国の協同組合人の皆様へ発信します。

—ユネスコによる協同組合の「無形文化遺産登録」記念—

「岩手の生協運動の歩みと発展は、妨害や圧力と闘わざるを得なかった歴史でもあります」（第2章より）…。

本書は協同組合へのロマンを持ち続け、県内の生協運動を切り開いてきた筆者だからこそ書ける、臨場感あふれる数々のエピソードに満ちています。「歴史」を知ることで、未来をつくる一助になることを願っています。

本冊

発行 岩手県生活協同組合連合会

定価 本体1000円+税

A5判・184頁 2018年5月刊

【主な内容】1～10章構成

岩手県で初めての主婦・消費者による本格的な地域生協づくり／ 願いを実現する組合員の力／ 県内生協の設立、発展と到達点／ 社会保障制度の後退の中で光を放つ盛岡医療生協の取組み／ 協同組合間協同の取組みと課題／ 次代を担う皆さんへの期待 等

別冊

岩手の 生協ものがたり

岩手県生活協同組合連合会 編
加藤善正 著



別冊

発行 岩手県生活協同組合連合会

定価 300円(税込み)

A4判・80頁 2018年6月刊

「別冊」は過去に日生協総会で配付した意見文書や講演会での資料等を取り、協同組合らしい運動論について本冊を補足するため編集。

【主な内容】7章構成

日本の生協運動の歩み／ 全国生協第4次中計と「90年代構想」日本生協運動の原点からの大転換はどう進んだのか／ 日生協・日本農業に関する提言への批判／ 生協運動のロマンと思い／ 世界の食料事情の激変と日本の食料・農業・農村に対する生協のミッション／ 寄稿文 等

■ ■ 書籍共同購入のご案内 ■ ■

1セット 「本冊と別冊・各1冊」
 共同購入セット価格 1,525円（本冊1,080円 + 別冊300円 + 送料145円・ゆうメール，税込）
 ご注文〆切 8月25日（土）17：00
 お届け予定 9月上旬

お支払はお届けした書籍に同封する「払込取扱票」にて郵便局でお払込ください。払込手数料は研究センター負担。申込は「申込み用紙」にて，FAXかEmailで，研究センター事務局まで
 F A X : 052-781-8315 e-mail AEL03416@nifty.com

書籍『岩手の生協ものがたり（本冊と別冊セット）』申込み用紙

お名前			
送り先ご住所	〒		
電話番号		お申込み数	セット

※Emailの方は4項目を入力し，送信願います。
 ※頂戴した個人情報，書籍発送に限って使用します。

■ 別冊「岩手の生協ものがたり」より

岩手の生協ものがたり 別冊

『別冊』発行にあたって 加藤善正

『岩手の生協ものがたり』は岩手の生協運動の歴史を、ものがたり風につづりましたが、日本の生協運動の歩みや日本生協連合会の歩み、とりわけ90年代後半以降の日生協理事会の路線転換の内容やその背景については、難しい内容記述は頁数が増えることと影響の大きさを考慮して入れないでしまいました。

しかし、岩手の生協運動は全国の生協運動の中で発展し、多くの支援や指導により今日を迎えております。さらに、日生協の路線や政策の大転換とは意識的に距離を置き、「協同組合らしい生協」として独自性を発揮して成長してきました。したがって、岩手の生協運動を正しくご理解いただくためには、その関係性を説明する必要があると考えました。また、全国的にも日生協の歴史的な路線の大転換を知らない人々が多くなり、日生協から公表するはずも無く、それらを明らかにするのも、長い間生協運動に携わってきた私の責任と考え、「別冊」を綴ることにしました。

さらに、この間他の生協などで講演を依頼されたり、寄稿を頼まれて出稿したのも多くあり、これらも「岩手の生協運動の思想と実践」をご理解いただく上では参考になるものもあり、幾つかを掲載することにしました。

こうした内容の一部をまとめて、『別冊』として発行することになりました。あわせてお読みいただくことをお願いいたします。

■ 著者ご紹介

加藤善正

かとう・よしまさ



1940年北海道紋別郡滝上(たきのうえ)町生まれ。1961年岩手大学生協設立に学生常務理事として関わった後、66年専務理事。1969年盛岡市民生協を設立。1990年には県内5生協を合併いわて生協を設立し専務理事、98年～2004年までは理事長を務めた。1995年コープ東北サンネット設立に関わり、2004年まで理事長。1966年に岩手県生協連を設立し役員、会長理事として2017年の選任まで半世紀にわたり県内の生協運動に関し主導的役割を果たしてきた。2003年厚生労働大臣表彰。2006年農協人文化賞受賞。現在は岩手県生協連顧問、岩手県ユニセフ協会副会長。